

**令和3年度木津川市一般会計補正予算  
第1号について（概要）**

総務部財政課

令和3年度補正予算第1号は、新型コロナウイルスのワクチン接種の実施に向け、当初予算編成時に想定していた体制をより強化するため、職員手当の新規計上や、パートタイム職員報酬等・接種会場設営委託料・人材派遣業務委託料等の増額など、令和3年度当初に必要な予算の補正を行うものである。

**予算案の概要**

**1 補正予算の規模**

1億8,401万8千円

補正後の予算額 312億8,401万8千円

**2 補正予算の内容**

◎新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費 1億8,401万8千円

パートタイム職員報酬等	247万円増	(補正後991万6千円)
-------------	--------	--------------

職員手当	3,873万6千円皆増
------	-------------

医療従事者等報償費	7,596万円皆増
-----------	-----------

消耗品費	300万円増	(600万円)
------	--------	---------

通信運搬費	685万8千円増	(2,037万2千円)
-------	----------	-------------

審査支払手数料	△2,360万4千円減	(120万円)
---------	-------------	---------

紹介手数料	74万4千円皆増
-------	----------

予防接種委託料	△4,417万円減	(1億6,394万4千円)
---------	-----------	---------------

産業廃棄物処分委託料	75万5千円増	(174万3千円)
------------	---------	-----------

会場設営委託料	9,348万9千円増	(9,457万8千円)
---------	------------	-------------

人材派遣業務委託料	2,269万7千円増	(7,171万2千円)
-----------	------------	-------------

電算システム改修委託料	70万7千円皆増
-------------	----------

事務機器等賃借料	637万6千円増	(815万8千円)
----------	----------	-----------

○コールセンタ一体制の拡大

通信運搬費・人材派遣業務委託料・事務機器等賃借料の増額

○接種会場の拡大、会場設営物品はレンタル業者から全期間・全会場分を借り上げ、会場受付の円滑化

職員手当・紹介手数料・電算システム改修委託料の計上、パートタイム

職員報酬等・消耗品費・会場設営委託料・人材派遣業務委託料の増額

科 目	款	項	目	
所 事	記載例			
市総合計画(基本計画の位置付け)				当該補正予算において、新たに予算事業名称を作成したものを「新規」とし、それ以外のものは、原則、「継続」としています。
事業期間			新規・継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債
補正前				その他
補正額				一般財源
補正後				
補正予算額の主な内訳				金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、( )内に補正後の予算額を記載していますが、予算の使途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を( )内に記載しています。
主な特定財源				
政策を必要とする背景及び提案の経緯				
市民参加の状況			年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)	
将来にわたる効果等				

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管		健康福祉部 健康推進課				
事 業	3802	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費				
市総合計画(基本計画の位置付け)		【基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり】 政策分野3 健康 施策①保健・医療(救急)				
事業期間		令和2年度から		新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	325,207	306,126			10,000	9,081
補正額	184,018	203,099			△ 10,000	△ 9,081
補正後	509,225	509,225				
補正予算額の主な内訳		パートタイム職員報酬:2,257千円増(7,590千円)、職員手当:38,736千円皆増、医療従事者等報償費:75,960千円皆増、パートタイム職員通勤費用弁償:213千円増(453千円)、消耗品費:3,000千円増(6,000千円)、通信運搬費:6,858千円増(20,372千円)、審査支払手数料:△23,604千円減(1,200千円)、紹介手数料:744千円皆増、予防接種委託料:△44,170千円減(163,944千円)、産業廃棄物処分委託料:755千円増(1,743千円)、会場設営委託料:93,489千円増(94,578千円)、人材派遣業務委託料:22,697千円増(71,712千円)、電算システム改修委託料:707千円皆増、事務機器等賃借料:6,376千円増(8,158千円) ※コールセンターの体制拡大、並びに接種会場の拡大及び設営物品の確保を図るため、所要の補正を行う。				
主な特定財源		新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金:14,390千円 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金:188,709千円 ふるさと応援基金繰入金:△2,500千円 新型コロナウイルス感染症対策応援基金繰入金:△7,500千円				
政策を必要とする背景及び提案の経緯		新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備を行い、市民の接種機会を設ける。				
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						